



大阪科学・大学記者クラブ 御中
(同時資料提供先：関西レジャー記者クラブ)

2022年2月14日
大阪市立大学

人と自然の調和を考える

「第2回 里山を考える研究会」を開催します！

大阪市立大学附属植物園は2022年3月7日(月)に「第2回 里山を考える研究会」をオンラインで開催します。

「里山を考える研究会」とは

当植物園で“ナラ枯れ”が確認されたのをきっかけに、2012年から毎年一回、ナラ枯れをテーマに一般公開で開催してきた「ナラ枯れ研究会」に端を発します。2016年近隣のナラ枯れ被害が減少に転じたことを受け、ナラ枯れ研究会をより包括的に「里山のあり方」を考える場に発展させ、2017年に「第1回里山を考える研究会」を開催しました。今回はその第2回目となります。

☞[ご取材のポイント]

・大学が里山保全活動に果たす役割を考える

大学が中心となり、地域の方々、民間企業、行政と共に地元の里山を守り、復活させようという試みを紹介します。

・獣害専門家からの報告・問題提起

植物園や地域の獣害被害を調査し、その実態を把握することで、里山を巡る人と生き物の関係について問題を提起していただきます。

・里山の新たな価値を再発見

燃料革命以後、価値を生み出さなくなった里山に、木質バイオマス発電の燃料供給基地としての可能性を拓く取り組みを紹介します。

長引くコロナ禍と、SDGsや「2050年までにカーボンニュートラル実現」といった国際的な世論の高まりを背景に、里山の役割が大きく変わろうとしています。テレワークが可能にした地方移住や自然回帰、木質バイオマスの再生可能エネルギーへの利用などで、里山が注目されていると言っても過言ではありません。原生的な自然と都市との中間に位置し、都市から手軽に訪問し自然を楽しめる場として、コロナ禍で人気が高まりつつあるのが里山です。

一方で、これまでも抱えてきた、担い手の高齢化や恒常的な人手不足、獣害の拡大によるトラブルと言った課題が、里山の再生や新たな利用を目指す上で、大きく立ちはだかっています。今回は大学が中心となって地域の里山の利用と保全に取り組んでいる事例や、獣害被害の実態を把握する活動、地域に根ざした木質バイオマス発電の取り組みを紹介します。



コロナ禍や、コロナ収束後を見据えた、里山利用の可能性について、情報を交換する場として、また新たなつながりを生み出す場として、本研究会を開催します。

里山保全に関わる皆さんや、里山利用を考える地域にとって、新しい取り組みについての情報を共有できる貴重な機会です。

本イベントを広くご周知いただくとともに、ご取材についてご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 1 開催日時 2022年3月7日(月) 14:00~16:00
- 2 開催方法 オンライン Zoom ミーティング
(申込み受付後、ミーティング ID をメールにてお知らせします)
- 3 参加費 無料
- 4 定員 60名(先着順、要申し込み)
- 5 申込方法 メールにて、(1) お名前 (2) 所属団体名 (3) 連絡先電話番号 をご記入の上、メールの件名を「里山研究会参加希望」として、下記の申込先へお送りください
- 6 申込締切 2022年2月28日(月) (注: 定員になり次第締め切ります)
- 7 申込先・問い合わせ (注: お電話でのお申し込みはできません)
大阪市立大学附属植物園
〒576-0004 大阪府交野市私市 2000
TEL : 072-891-2059
E-mail : b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp
- 8 研究会プログラム (14:00~16:00)
開会挨拶 大阪市立大学附属植物園長 山田敏弘

講演

「大学発の里山保全活動」

松本 光朗 (近畿大学農学部 教授)

「里山に広がる獣害 (特にイノシシ被害) の実態について」

幸田 良介 (大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター 主任研究員)

「木質バイオマス発電がもたらす里山の新たな可能性」

井戸 央至 (TJ グループホールディングス株式会社 取締役)

辻元 眞由子 (TJ グループホールディングス株式会社 取締役)

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学附属植物園 担当: 中野

TEL : 072-891-2059 (9:00~17:00)

FAX : 072-891-2101

Mail : b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

第2回

里山を考える研究会

参加費：無料
先着60名
事前申し込み要

2022年

3月7日(月)
14:00~16:00

オンライン
ZOOMミーティング
として開催

原生的な自然と都市との間に位置し、都市から手軽に訪問し自然を楽しむ場として人気の里山が抱えている多くの問題についての情報を共有できる貴重な機会です

研究会の内容

オンライン Zoom ミーティング
3月7日(月)14時~16時

◆開会挨拶 大阪市立大学附属植物園長 山田敏弘

◆講演
「大学発の里山保全活動」
松本光朗 (近畿大学 農学部 教授)

「里山に広がる獣害(特にイノシシ被害)の実態について」
幸田良介(大阪府立環境農林水産総合研究所
生物多様性センター 主任研究員)

「木質バイオマス発電がもたらす里山の新たな可能性」
井戸央至/辻元真由子
(TJグループホールディングス株式会社 取締役)

申し込み方法 メールにて

(1) お名前
(2) 所属団体名
(3) 連絡先電話番号 をご記入の上、
メールの件名を
「里山研究会参加希望」として、
b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp
へお送りください。
申込み受付後、ミーティングIDを
メールにてお知らせします。

定員 60名(先着順)

申込締切 2月28日(月)

(注:ただし定員になり次第締め切ります)

お問い合わせ 大阪市立大学附属植物園
電話072-891-2059

(注:お電話でのお申し込みはできません)

主催:大阪市立大学附属植物園
共催:大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター
協力:交野市